
流した涙の訳

テンコウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

流した涙の訳

【Nコード】

N8869Y

【作者名】

テンコウ

【あらすじ】

家族の絆を信じさせてくれる出来事がありました。家族だけではなく、僕を取り巻く多くの人々が僕を支えてくれました。涙を流しました。僕は二度とその訳を忘れない。

僕は幾度となく罪を繰り返して生きてきた。

多くの人を裏切り、悲しませてきた。

およそ「悪」とは僕の生き様そのものを指すのだと思えた。

いつもそんな僕を守ってくれる人たちがいた。

傷つき、苦しみ、恨みもしたであろうその人たちは僕に笑顔で言った。

「頑張りなさい。」

涙が止めどもなく流れ出す。

悔やんだ。

己を憎んだ。

でも生きていた。

僕は三度、大きな過ちを犯した。

過去でも類を見ない罪だった。

およそ「生」を望むにはあまりにも重い罪だった。

その人たちはこんな僕でも三度守ってくれた。

その人たちだけではない、私を守る人がすぐそばにも居てくれた。

「一緒に生きよう。」

涙が再び滝の如く流れ出す。

むせび泣く。

心に誓った。

共に生きていこう。

過ぎ去った時は戻らない。

罪と引き換えに失ったものと同じように。

僕はどう償うのか？

僕は生かされている。

その人たちやすぐそばに居る人、そして僕を三度信じてくれた人々によって。

繰り返す過ちを、罪を、怒りを、憎しみを僕は忘れない。

流した涙の訳を忘れない。

今も心にこだまする。

「頑張りなさい。」

「一緒に生きよう。」

流した涙の訳を忘れない。

明日も僕は生きている。

「頑張つていくよ。」

「ずっと一緒だよ。」

流した涙の訳が僕を少し強くしてくれた。

ありがとう・・・ありがとう。

お母さん、お婆ちゃん、僕の妻・・・

本当にありがとう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8869y/>

流した涙の訳

2011年11月26日17時58分発行